

第2回 京丹後市社会教育委員会議（会議録）

日時：令和4年11月9日(水)午後2時～3時20分
会場：丹後庁舎 2階 204会議室
出席：中山・菅生・田中・山副・野村・橋垣・中江
藤原・折戸・藤村
欠席：稲本・和田・岩田・室井・上田
傍聴人：1

次第

1. 開 会
2. 開会あいさつ
京丹後市社会教育委員会議議長
京丹後市教育委員会教育長
3. 協議事項
 - (1) 社会教育委員の活動について（午前中のグループ協議の報告を踏まえて）
 - (2) 令和5年度生涯学習課関連予算について（資料 No1）
 - (3) 京丹後市文化芸術振興計画（案）について（資料 No2）
4. 報告事項
 - (1) （11/17）令和4年度京都府社会教育研究大会への参加について
 - (2) 令和4年度「丹後地方社教委連だより」について
編集委員：山副委員
原稿投稿者：折戸委員
 - (3) 丹後大学駅伝の開催について（資料 No3）
 - (4) パラスポーツ講演会・体験会の開催について（資料 No4. No5）
 - (5) 第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて（資料 No6）
5. その他
6. 閉会あいさつ
京丹後市社会教育委員会議副議長

【会議録】

- 事務局 それでは皆さん大変お待たせいたしました。ただいまから令和4年度の第2回京丹後市社会教育委員会議を開催させていただきます。本日は申し訳ありませんが、安達課長が他の公務のために、今回出席する事ができませんので、私坪倉が代理で進行させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 本日は稲本委員、和田委員、岩田委員、室井委員、上田委員からご欠席のご連絡をいただいております。
- では、最初の開会のご挨拶を頂戴したいと思います。中山議長様ご挨拶の方よろしくお願ひいたします。
- 中山議長 最近、NHKでコロナの市町村別の感染状況の報道がありませんので、よくはわかりませんが、何となく増えてきているような感じがしています。このような状況の中でもウイズコロナで本日は午前中に視察研修があり、社会教育委員の活動としては画期的なグループ協議がありました。コロナ前には、近畿大会の分科会でも、グループ協議がありました。が、本当に久しぶりのグループ協議で社会教育委員として、どうしなければならないか考える一助になったと思っております。
- 社会教育委員として、会議・研修は大事だと思っておりますが、このところ総会・研修への参加が少なくなってきました。今月19日の京都府社会教育研究大会には、地元開催ですし、京丹後市の重要な課題である持続可能な魅力ある地域を目指してということが研究議題となっております。ぜひご参加していただきますようお願いいたします。本日も重要な協議事項や報告事項があります。皆様方の忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。
- 事務局 ありがとうございます。続きまして京丹後市教育委員会松本教育長よりご挨拶を申し上げます。
- 松本教育長 みなさん、こんにちは。本日は、本年度の第2回目の社会教育委員会議を開催しましたところ委員の皆様におかれましては、本当にお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。また、午前中は、議長様からもありましたように、丹後地域公民館、丹後図書館の視察と合わせて、社会教育委員活動についてのグループ協議もお世話になったと聞いております。大変ご苦労様でございました。
- よく私は話題にしますが、豊岡にあります「芸術文化観光専門職大学」の学長である平田オリザ先生のご講演の中によく出てくる「身体的文化資本」という言葉がありますけれども、そうしたものを高めていく上で、図書館であったり、博物館・資料館というのは、大変役割が大きいものであると思っておりますし、子どもたちの広い意味での学力をつけていく上でも、大変重要であるという事を繰り返し伝えていただいておりますので、本日視察していただいた施設は、社会教育だけではなくて学校教育においても、本市において大変重要な施設ですので、今後も市教委としましても、有効な活用を図っていきいたいというふうに考えておるところです。
- さて、これも議長様からありましたように、新型コロナウイルスにつきまして、本市においても10月は、比較的落ち着いております。社会教育においても学校教育においても、各種の行事やイベントなども感染防止対策をしながら、従来に近い形で実施できておりました。安堵しておったところではありますけれども、11月に入りまして、学校園所でも少しずつ感染者が増えてまいりまして、今日現在においても、学校閉鎖をしている学校や学級閉鎖をしている学校などが出てきている状況となっております。冬季に向けてインフルエンザ等同時流行というような事も懸念されているところではありますけれども、引き続き感染対策を継続しながら、大変よい季節でもありますので、今後とも文化・スポーツなどの社会教育活動を確実に進めていかなければならないというふうに教育委員会としても思っているところでございます。
- 本日の会議では、令和5年度の生涯学習課関連の予算について、また多くの関係者の皆様にお世話になりまとめました「京丹後市文化芸術振興計画(案)」についてなど、協議していただく事としておりますので、本日も長時間の協議となりますけれども、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、この後の議事につきましては、中山議長様お願いいたします。

中山議長 それでは、協議事項（１）社会教育委員の活動について、午前中のグループ活動の報告を踏まえて、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、本日 10 時から丹後地域公民館と丹後図書室という事で、2 つの社会教育施設をご視察いただきました。そして、その後、グループ協議という事で、皆さんの社会教育に関する本日このような議題で、施設見学をしていただいたご感想とか振り返り、その後社会教育委員として、またいろいろと地域で取り組まれている事、それから社会教育委員としてできる事、それから丹後地方社会教育委員連絡協議会研修会等の研修会への参加など、そういった場に出席しやすくするにはどうしたらいいかという部分に絞って、ご協議いただきました。これにつきましては、本年度の京都府社会教育委員協議会の総会の中で、非常に地域でがんばっておられる活動の報告などを参加した委員さんが聞いて、私たち京丹後市の社会教育委員も一度こういう会議の場ではなくて、小さいグループ、もっと話しやすい場所を設定し、一度ざっくばらんにお話ができればいいのでは、そういった中で、いろんな社会教育委員としての取り組みを話し合ったりだとか、今後こんな事ができたらいいのではみたいな事がもっと言いやすい場が持てたらというご提言をいただきましたので、今回午前中にグループ協議の場を設定させていただきました。今日は、2 グループの、中山議長さんのグループと藤原副議長さんのグループに分かれて、この題に沿ってご協議いただきましたので、それぞれの班からグループ協議いただいた内容のご報告をいただきたいと思います。時間については 5 分くらいでお納めいただければと思っております。中山議長様の班から順番にご報告いただけたらと思います。

中山議長 私のグループは、私と田中委員と中江委員と 3 人で話し合いました。まず、施設見学の振り返りですけれども、丹後地域公民館は大ホールが広くてステージもあり、講演会・発表会・スポーツ等使い勝手がいいという事と、松本重太郎翁の展示がすばらしい、すばらしい実績をされていたんですけれども、丹後町の人でも知らない人がいるとか、誇りにまで思っていない人もいるという事で、広報がまだ問題かなあという感じがしました。それからエレベーターが新設されたので、3 階に物を運ぶのがものすごく楽になったという報告、本当にすばらしいきれいな公民館でした。

丹後図書室ですけれども、間人の海が一望できるすばらしいロケーションの図書室で、すべての図書館・図書室をまわってきた人がいまして、書架が段階的に高くなってきて見渡せているので、それから壁をぶち抜いてガラス張り、本当に解放感があるいい図書室だという事です。それから丹後図書室だけではないですけれども、検索ができるのがいいし、府の図書館とつながっているという事がいいなあと感じたそうです。

それから、社会教育委員として取り組んでいる事についてですけれども、まずそう言ってもなかなか個人ではできませんので、なぜ社会教育委員になったかっていうのは、今までの実績を生涯学習課の事務の人たちが評価され選ばれたので、今までの実績というのはどんな事があるのですかって聞いたら、中江さんは、漁協の職員でイベント等とか料理教室とかそういうのをがんばっていて、一緒にやった仲間に名指しされたそうです。あなたは社会教育委員になりなさいと。それほどすばらしい活動をされたそうで、今も漁協の婦人部でがんばっておられるそうです。それから、田中さんは丹後吹奏楽団をしておられるそうですし、あと文化のまちづくり実行委員会に入っておられて、社会教育委員さんとのつながりが深く、今もそれを続けてがんばっておられるという事でした。私は、別に何もしていないんですけれども、たぶん公民館が長かったので、それでなったんだなあという事だと思います。

あと、社会教育委員の任務としては、地域の課題や住民のニーズを把握し、それを社会教育事業に反映させる役割なんですけれども、今現在地域の課題といえ、4 年前から京丹後市中で持続可能な新しいコミュニティについて取り組んでいまして、4 年後にすべてやっついこうという今途中の段階ですけれども、それが今現在戸数が 30 戸以内、30 戸以内と一集落で言ったら、区長やいろんな役をほとんどの家から出してしまったり、ずーっとしなければならないという現状がもっともっと増えていくような段階で、どうしようもないので、これも社会教育委員としての 1 つの議題として取り組んでみてはどうかなあ

いうふうな意見が出ました。

社会教育委員としてできる事ですけれども、個人でできる事は知れている。私も放課後児童クラブに土曜日だけ行ったりとか、朝の見守りとか子どもたちの事をしてはいますが、ほとんど何もできてないんで、社会教育委員会議で何かしようと決めて、みんなでやらなければ本当に効果が上がらないなあと、年3回の中では、堅苦しくて意見も出にくいということについては、今日の3人のグループは、ボンボンと意見が出ましたけれども、やっぱりこういうところは堅苦しいので、また府の大会や近畿の大会、お金を出してもらってバスで豪華に行って親睦を深めながら、そういう事も大切だなあっていうふうに思いました。会議だけではなく、もっともっと仲良くなって、懇親を深めていけば、充実するんじゃないかなあというふうな事、それが総会・研修会に参加しやすくするという事につながると思いますし、1か月前から日程がわかっているので、私の場合は議長だという事で、これを一番に考えていまして、何が何でもこれに参加しようと。他の仕事をされている人にとっては、仕事の方が大事というか、区長会でも65才までに区長になられた方は、ずーっと昼間に会議をしていたのですが、夜の会議にしてほしいという事で、夜の会議になりました。みんなが参加するためにはってという事ですけど、私自身は、夜の会議は嫌いで、今まで通り昼間にやってほしいですし、やっぱり意識を持って社会教育委員であるので、これを一番に考えて参加してほしいなあと思います。それから、社会教育委員会議として、京都府の社会教育で重要な課題になっています、コミュニティスクールと地域学校協働活動っていうのがあって、12年ほど前から始まっているんですけど、京都府でも全市町村にがんばってほしいという事で、かなり府教委としても頑張って取り組んでいる事業なんです。京丹後市は、12年前から取り組んでおり、組織もしっかりとしてやっておりますが、社会教育委員さんの中にもそこまでこの実態を知らない人が多くて、どれほどすばらしい事をやっているかという事、もし今度各町から2人ずつ委員さんが出ておられるし、コーディネーターの人と話し合ったりして、本当にコーディネーターの人が困っている事はどうか個人のする仕事の1つとして具体的なものとして、社会教育委員としても提案できるんじゃないかなあという、そういう意見がありました。以上です。

事務局

藤原副議長

ありがとうございます。藤原副議長様、お願いいたします。

私のグループは、4名で構成をしております、私が13年目、もう一人の方が7年目、2年目の方がお一人、今年からの1年目の方がお一人という事で、長い者と新しい方というふうな編成になっておりました。

まず1番目の施設見学の振り返りですけれども、やはり会議ではなかなか丹後図書館が開設しましたとかいう報告はいただくんですけど、やはり現地を見るという事が大事なあと、やはりすばらしさというのは、なかなか会議の中だけではわかりにくいという事でよかったなあという事が出ておりました。

それから社会教育委員として取り組んでいるという事で、それぞれが地域で取り組んでいる事などを出し合うという事で、いろいろと地域の中で取り組んでいるという事で、家庭教育支援チームであるとか、子育て支援ルーム、それから学校支援ボランティア、それから福祉委員会の代表であるとか、地区公民館の主事、それから小学校評議委員、いろいろと取り組みをしているという事で、その中で出されたのでは、いろんな分野で様々な取り組みをされているわけですけども、その中でいろんな意見等、聞かせていただいた事を会議の中で反映していくという事が大事ななあという事が出ておりました。

それから3番目の社会教育委員としてできる事という事で、任命されたが無理ではないかと思う事があると。やはり会議で何を言ったらいいのかわからないというそういった声もございました。そういう中で、案内をいただいた会議や研修等できるだけ参加する事が大事ではないかというような事が出されておりましたし、その姿勢として社会教育委員としていろんな情報が、今それぞれのまわりの中であるわけですけども、アンテナを張り、情報を取り入れる。知的な好奇心という事がございますけれども、そういう事を新聞もあれば、テレビも前見ておりましたら、今日行きました丹後図書館の書架、本が倒れないような、ちょっと地震で揺れたら、がくんとなって上に上がり本が落ちなくなるとかですね、いろんな情報がそれぞれのところであって、一見図書館とは関係なさそうな情報もあるわけですけども、いろんな情報の中で私たちは暮らしています。そういった事について、

自分の中に取り入れていくという事が大事ではないかという事がありました。最後の研修等に参加しやすくなるという事ですけれども、今日のもそうなんだと思います。会議で発言した中身を研修に結びつけていただくとか、去年も豊岡の方に見学に行きましたけれども、そういった事ももちろんありますし、そういう事があると非常に委員としてはうれしいと。意見を出してその事を実現するという事になりますので、それと会議の場というのは、今日みたいに向き合って意見を言うという事にはなるんですけれども、なかなかそれは発言であって、なかなか交流にはなりにくい。ですから、今日のような少人数のグループでの話し合いというのは、丹後の中ではなかったのではないかと思いますので、非常に隣のグループの声が大きくて、圧倒されてちょっとよく聞こえなかったりしてというのはあったのですが、それだけ白熱した話し合いというのがあって、やはりそういう事で次からは、この方はだれだとかわかるようになるわけですね。それだけがという事ではないですけれども、以前は夜節々で懇親会とかあったんですけど、やはり今後そういう事ができるような中身になったらいいなという事で終わりました。以上です。ありがとうございました。2つのグループから報告がありましたけれども、質問とか意見がありましたらお願いします。

中山議長

事務局

本当にざっくばらんに話し合っていた中で、委員の皆様が思っている事を反映させていくためには、皆様がこうやって会議に出ていただいて、いろんな事をどんな場所でも構いませんし、言っていただける事が非常にありがたいなと思っております。今の話を聞いていただいて他の委員さんも委員としての思いがあれば、今日参加されなかった方でも、私もこういう事を思っているんだという事がもしもあれば、ご意見を頂戴できればと思います。

中山議長

ありませんか。今日本当にやってみて楽しかったです。最初はどうなる事かと思っていたんですけど、これは難しいな、内容が内容なんで、自分が難しいなと思いつつ、皆さん方よくしゃべられてすご楽しかったです。またこういうのができたら、本当に研修になって、皆さん方も聞いておられて、あーいいかなあというふうに参加されていない人も思われたんじゃないかなと思います。また今出た意見も取り入れていただけるとうれしいのでよろしくをお願いします。

事務局

ご意見を頂戴いたしまして、皆さんがよい雰囲気の中で会議に参加していただきやすい雰囲気を作っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いします。ありがとうございました。

中山議長

続きまして、協議事項（2）令和5年度生涯学習課関連予算について、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

はい、それでは私の方からご説明をさせていただきます。資料 No1 をご覧ください。毎年この時期に本市の令和5年度の予算、当初予算について粗々なんです。現状粗々なんですけれども、現段階の分の金額をここに入れさせていただいております。今後も金額等の修正もございまして、ちょっと申し訳ないんですが、会議資料 No1 につきましては、非公開の資料とさせていただきますので、また終わりましたら机の上に置いていただけたらと思います。

では、順番に説明の方をさせていただきたいと思っております。これだけたくさんの方の事業が京丹後市教育委員会生涯学習課でやっている事業です。これだけ事業がありますが、主だったところだけご説明をさせていただきたいと思っております。

※事務局説明

中山議長

ありがとうございます。令和5年度生涯学習課関係当初予算要求検討額一覧表について説明していただきましたが、意見・質問等がございましたら、よろしくお願ひいたします。

はい、田中委員さん。

委員

私は利用頻度が高いのでそれに関連してなんですけれども、アグリセンターのエレベーターがだいぶ前から故障しておまして、物を上げたりするにもすごく使い勝手のいいエレベーターだったんですけど、その辺がもし次年度にでも盛り込めるのであればなんとかしてもらいたいのと、あとアグリセンターの照明器具や音響器具も小さいホールにしては、充実していると思っておりますし、ただ玉切れが多くて、あの辺も LED 化を考えてもらったり、玉をというふうに思いついてちょっと言わせてもらいました。

中山議長
事務局 ありがとうございます。また検討の方をよろしく願いいたします。
ありがとうございます。本当にアグリセンターは非常にいい施設ですので、今ご指摘のあったような部分、再度検討させていただきたいと思います。

中山議長
委員 他になんでもありましたらなんでもいいです。どうぞ。はいお願いいたします。
社会体育施設の管理のところなんですけれども、あまりにも金額の変化があるんですけども、この辺のところをちょっと知りたいです。

中山議長
事務局 お願いします。
失礼します。かなり大きな額が減額になっているんですけども、令和4年度は久美浜中央運動公園のテニスコートの照明設備改修工事もしております、その分が2,786万円ほど減額になっておりますし、ここにも書いてありますように、体育館のLED化の工事の分も本年度で終わる予定になっておりますので、この分が合わさって、1億784万9千円の減額となっております。

委員
事務局 これだけ減額して支障はないんでしょうか。
今年度大きな工事をしましたので、突出的に大きくなっておりまして、今年度の工事が終わりましたら、安全・安心に使っていただく事ができるという事です。

委員 そしたら、あれですね。今年たくさん使ったからそういう事ですよ。終了したって事です。はい、わかりました。

中山議長
事務局 ありがとうございます。他にありましたら、お願いいたします。
体育協会は来年度からどうなるんですか。
体育協会は、今年度令和4年度4月に法人格を取得されまして、今年1年間移行期間を設けて、来年の令和5年4月から本格的に法人化の事業をされる予定になっております。今現在、今年度は来年度にスムーズな運営ができるようにという事で、準備期間としていろいろな整理をされているという事です。

中山議長
事務局 今あるように各町に支部長というのもあるんですか。もうなしですか。
来年度、支部長がそのままあるかどうかという事ですか。その件につきましても現在検討が進められておりまして、市の方も連携して会議などに入りまして、来年度の形を検討しております。

中山議長
委員 その他ありましたら、お願いいたします。
さっきデジタル書籍の話があつて、ここに図書カードの新規作成って書いてあるんですけど、これってどのようなものを思っておられるのかなあと。思って。

亀田館長 新規作成となっていますが、今あるカードが来年度足らなくなってくるという事で、増やすという。カードそのものが新しくなるという事ではないです。

中山議長
藤原副議長 他にもありましたら、どんどん言ってください。
「12中央公民館管理運営事業」のところなんです、赤いところで、「地区公民館活動交付金の一部地域コミュニティ交付金への移行」という事が、2個書かれているんですが、今全体としてはこちらに進めていくという方向ですと、ゆくゆくはなくなっていくという事が1点と、それと全体の進捗状況みたいなものがわかりましたら、ちょっと教えていただきたい。

事務局 今京丹後市の方では、新たな地域コミュニティへの移行という事で、地域コミュニティ推進課を中心に、令和7年度への完全移行を目指して順番に進めております。そういった中で、基本的には新たな地域コミュニティへの移行ということで考えてはおります。
現状今進んでいるのは、久美浜地域でモデル地域への移行が進んでおりまして、弥栄地域でも野間地域がモデル地域に指定をされまして、令和5年度から上のステップに上がるところでございます、ステップ3に入られた新たな地域コミュニティにつきましては、そちらに公民館活動交付金を地域コミュニティの一括交付金として交付して行こうと考えております。ただ、それぞれの地域によって、それぞれの地域の町単位で検討を進めていただいております、なかなか全現状としては早く進んでいる地域と差がありますので、全部が一斉に移行ということで目指してはおりますが、なかなか進んでいないというのが現状かなと思います。

藤原副議長 公民館的な活動みたいな事は組織図で出てきたりするという事はあるんですけど、例えば移行して、ここからは減って、その公民館的な活動というのはどっからお金が出てくるん

でしょう。

事務局

この新たなコミュニティの交付金という形の一括の交付金の中で、公民館活動もしっかりやっってくださいという事は入れてもらおうと思っております。

もしも移行されたとしても公民館活動を全部なくすという事ではなくて、新たなコミュニティの地域活動の中で、公民館活動と地域活動で同じような目的だったり、同じような事業であったりするものは、新たな地域コミュニティの中で、公民館部会とか生涯学習部会みたいなものを設けていただいて、そちらで考えていただいて生涯学習の部分もしっかりとやってもらいたいというように思っております。

藤原副議長

公民館という名前はなくなるという事ですか。今でしたら、弥栄地域公民館とか弥栄地区公民館とか、弥栄の中の何々地区公民館とかということになりますね。そこに交付されているというのがあるんですけど、公民館という名前はなくなるのですか。

事務局

今のところは新たな地域コミュニティという中で、それぞれの単位より少し大きな枠組みで考えた時に、そういう中で公民館の部会みたいな方に移行していった場合には、それぞれの新たな地域コミュニティの地域活性化協議会とかということになった場合には、公民館の名前はなくなっていくんですけど、全部が全部その新たな地域コミュニティに移行できるかというのは、ちょっとまだしっかりと決まってないので、移行できなかった場合には、そういった地域公民館や、地区公民館はそのまま残るとかいう事であれば、移行できなかった場合のことも対応を考えたいと思っております。

引野教育次長

特に補足するような事はないんですけど、できたら次の会議の時にでも資料も見ていただいて、全体の進捗状況なども説明させていただいてもいいかなと思っております。これは地域によって、公民館の名前を残しながら、例えばコミュニティに移行しても公民館という名前を残してやっていこうというところは、もしかしたら公民館という名前を残すという事はあるかもわかりません。それは、地域によっていろいろあると考えて、今やっ

ていただいているところかなと思います。

中山議長

では、今回の会議でももう少し詳しく説明というのがあるそうなので待ってます。本当に大きな課題になっていきますので教えてほしいです。それから、公民館の活動交付金の件ですけども、うちの峰山東区、今まで活動がなかったんですけど、今は活動しなければ減額されるっていうか没収されるという事で、ものすごく行事をいっぱいしているんですけど、本当にコロナになってからの方が多くやっています。

事務局

コロナで本当に活動ができないというお話はたくさんお聞きをしております、事業ができなかった場合、4割は返してくださいという部分は町公連の方にしております。できるだけ使っていただき、できるだけ活動していただくという事で、一生懸命頑張っ

てかंगाえていただいております。令和4年度はどんどんできていますので、使っていただいているという事だと思います。コロナ禍のなかでも、考えて事業をやっ

ていただいているという事でありたいと思います。

中山議長

他に意見とか質問とかありましたらお願いします。予算大事な事なんで、他にありませんか。

無いようでしたら、また気がつかれたら、また聞いてください。よろしく

お願いします。

続きまして、協議事項「(3)京丹後市文化芸術振興計画(案)」について、事務局より説明をお願いします。

※事務局説明

中山議長

ありがとうございます。京丹後市文化芸術振興計画、膨大な資料で作るのが大変だったと思いますけれども、丁寧に説明していただきました。質問や意見がありましたら、よろしく

委員

お願いします。

はじめにのこのページの見てもらいたいんですけども、このこのところ、「魅力あふれる本市で、市民みんなが「住んでいてよかった」と感じ、進学などで地元を離れた若者が「地元の帰りたい」と思えるような「愛着」と「誇り」を感じられるまちを目指します。」というの、これすごく素敵なんで、このこのところへ「住んでよかった」「これからも住みたい」というのを付け加えてもらいたいのと、それから「地元に戻りたい」「地元に戻りたい」これを繰り返してもらおう事で、なんか、がんばっているのが現れるのではと思うのが私の思いなんです。これ大事な事なんで出た人は帰ってきてほしいし、戻ってきてほしい。そ

の意味合いを込めて、ここのところ強調できたらなと思いました。
それから、19ページで、アンケート調査結果のところ、調査結果の表のところなんですけれども、このところでの項目も僅差ですよ、あまり差がないとなったら、これ全部がみんな望んでいる事のように察しますので、ここのところ、ここの一番がトップっていうような強調するのはよろしくないかなと思うのと、それと高校生のところもこれがトップっていうふうになっている、この表現はよろしくない。どれも全部大事だよっていうふうに捉えられますので、ここのところの表現をもうちょっと工夫していただけたらなというふうに思いました。それに続いて、その横の20ページのところでは、このトップを強調するように、「63%の人は」となってるんですけども、ここのところこれを強調しなくてもいいんじゃないかな、全部大事だよっていう事でもいいのかなっていうふうに私は思います。それと、28ページ、(3)学校のところですけども、「丹後学」っていう言葉を私は知らなくて、すごいなと思って、検索したら出てきました。これ皆さんあまり知らないんじゃないかなと思ったんで、このすばらしいこの「丹後学」、これに似たようなんで、「大阪学」ってのがあるんですよ。私はこれを見て、「えー、なんだろうな」って思ったんですけども。以上です。

事務局 はい、ありがとうございます。ちょっと今頂戴した部分は、内部で全体を見まして調整をさせていただきたいと思っておりますし、丹後学につきましては、本市で一生涯懸命取り組んでいる部分でございますので、松本教育長からご説明させていただきます。

松本教育長 丹後学に興味を持っていただいてありがとうございます。私が総括指導主事の時に作りました、モデルなんですけれども。要は学校教育の方では、小学校3年生から総合的な学習の時間という探究的な学習、調べ・まとめる学習っていうのが中心になっていまして、総合的な学習の中で、丹後の事を学んでいたりとか丹後の良さ課題も含めて学んでいく中で、丹後への愛着、誇りを持つという事と将来的にどんな自分になりたいかというキャリア教育というんですけど、そういう方向性を持つというその2点を主体として、各学年のモデルカリキュラムというのを作っているんです。例えば3年生でしたら地域の漁業、農業の事だとか、4年生になったら丹後ちりめんを学ぶとか、5年生であったら米作りを学ぶとか、6年だったらジオパークを学ぶとかね。そういうのが中学3年生までモデルになっていまして、そういう学習を通す中で当然丹後の良さであるとか、今のちりめんの課題であるとか、工業の課題というところにおち当たりながらも、それをどう改善していったらいいかというのを調べまとめる中でみんなと討議しながら、作り上げていくという、そういう学びをしておりまして、学校教育の方ではわりあい知られているんですけど、こうして社会教育委員の皆さんにはなかなか言葉なじみがなかったという事で、また次回の会議の場で、資料も具体的などころも示させていただいて、見ていただいたら本当にそういう愛着・誇りというのが、文化や芸術の中でどう培っていくのかというようなところの方向性も見えてくるんじゃないかなと思っておりますし、力を入れているところですので、また見てやってください。

中山議長 教育長さんすばらしいです。ありがとうございます。また今貴重な意見をいただきましたので、事務局の方で検討していただけるとい事なので、また活かしていただけるとい思います。ありがとうございます。その他、なんかありましたら、ちょっとした事でも気がつかれた事がありましたら。

委員 21ページに、文化会館について欠かせない施設というアンケートが出ていますが、私本当に文化会館の坂東玉三郎さんの時に行かせていただいたんですけど、あの人数の中ではあったんですけども、ぎっちり入ってたんです。その中でロビーの混雑だとかトイレだとか、こないだ韓国であったあんな事故の事を考えると本当にすごいこのコロナの中で、この密はどうなんだろうと、ロビーの広さに問題があるし、トイレも最初からのトイレではないでしょうか。汚れていると思って行かなかったんですけど、着物を着て行ったんですけども、そんな中で利用もできない、着物を着られた方もたくさんおられたし、それからよそから来た着物姿の方もおられたし、あれは、京丹後市のダメージにつながるんじゃないかなと自分で思ってたんですけども、丹後文化会館についての改築だとかそういう構想はあるんでしょうか。

引野教育次長 はい、ありがとうございます。17ページのところに丹後文化会館の紹介をさせてもら

ってしまして、昭和55年に京都府によって整備をしていただきました。当時は丹後で先進的な文化ホールだったという事で、今でもすばらしい施設だと思うんですけども、今ご意見があったように、老朽化が進んだり、今となっては使い勝手が悪いというところも確かにあると思います。京都府ともずっとこの間協議をさせてもらって、改修をするといった事だとか、あるいはこの施設の規模がいいのかどうかといったところも含めて、今検討を、今後この計画の中にも出てきますけれども、検討を進める必要があるという事で、なかなか新しい施設というのはすぐには難しいとは思いますが、これはもう大事な課題という事で、今回市民の皆さんだとかのこういう意向というか、やっぱり大事な施設だという事が改めてわかりましたので、この計画の中にもしっかりと位置付けて、26ページのところに検討を進めるという事も入れてますので、引き続き京都府と一緒に検討していきたいと思っています。

中山議長
委員

他ありませんか。

今の文化会館の設備の事なんですけど、さっきグループで話してた中で、あそこ駐車場の行くのに橋が出ているといいねって。そうすると、これっていうのは、今野村委員さんとも言われたように、この文化施設というのはすごく大事。みんながワクワクするためには、そういう施設の充実っていうのは大事だから、それでそういうイベント等がたくさんできるように、あそここのところの駐車場から渡る橋ができると車で来た人たちが会場に入りやすくなる。それも是非というふうに思います。みなさんの幸せを守るためには、必要なものじゃないかなと思いますんで、そこに力を入れてほしいなと思います。

中山議長

今ありましたように、午前中の3人のグループ協議の中で、文化会館大事だから絶対必要だという事と、僕もあそこに6年間いたんですが、地域公民館のところの駐車場が少なく、なんか行事があると向こうから来るんですけど降りてくるのが大変で、橋があったら楽だなあといつも思っていました。なんとかできればしてほしいんですけど。とにかく文化会館は大事だという事で、そのまま残してほしい、大事な施設だと思いますので、よろしくお願いします。他にありましたら。

委員

失礼します。今の文化会館の件で私も1つ意見というか質問も含めてなんですけど、文化会館は設置者が京都府で、日常的な管理を市が受け持ってらっしゃるという解釈で間違いないでしょうか。だとすれば、やっぱり日常的に使っている京丹後市の市民からの声がかかりと京都府に届く形にしていかないと話は先行きしないんじゃないかというふうに思いますので、そうすると議会も含めてという事になるでしょうし、ここにも数値目標が出ていますけど、もう1歩進めて、文化会館を新たに建て直すくらいの。やっぱり将来の人に対して今の私たちが責任ある姿勢をきちっと示すという事は、今すぐできないと思うんですよ、そんな5年や10年ではできないと思うけれども、例えば20年後を目指して、そこに持って行くんだというきちっとしたビジョンを出せば、それは動いていく事につながるんじゃないかなと。私も駐車場の問題は非常に問題だと思ってましたけど、むしろ今の駐車場に建てた方がいい。今の駐車場に新会館を、新機能を持たせて建てるくらいのビジョンがあってもいいのかなあと思っていましたし、やっぱり階段下にトイレがあるっていうのは、一番センスがよくないというか、つまり足の悪い人は中から通っていかないといけないような構造になっているのは、非常によくないんで。あれは、とりあえずのお金をかけてでも、早急に改修した方がいいんじゃないかと。トイレって本当に最も重要なというか集まった人にとってはとっても大きな問題なので、あれは早急な改修を京都府等にもお願いしながら、やっていくべきではないかなとは常日頃から思ってますね。以上です。

中山議長

ありがとうございます。すばらしい意見で

引野教育次長

この会議でこの文化会館の事がこれだけ質問とか意見をいただく事がこれまであまりなかったかなと思って、今日はとてもありがたいと思っています。ちょっとわかりにくいんですけど、京都府丹後文化会館で、管理運営は丹後文化事業団という財団法人、京丹後市が管理しているんじゃないかと、そこの財団が管理をされています。そこに市が補助金を出しているというそういう仕組みになってまして、施設の改修も少しずつ京都府の方に必要ところはやっていただいていますし、もちろん文化事業団から必要な改修については京都府に要望もしていただいていますし、我々の方も京都府の方に直接必要な事は伝えていっていますし、今もご意見いただいていますので、トイレの事なんかも確かに課題だと

思いますので伝えていきたいと思います。建て替えとか逆に駐車場の位置にとかいう、それも本当にいろんな発想でこの計画の中にこうやって位置づける事もできましたので、これをきっかけに新たな方向性なんかも今後議論ができればいいかなと思います。

中山議長

本当にすばらしい提案をたくさんいただきまして、本当にありがとうございます。他にありませんか。またなんか思いつかれたら事務局の方に言ってほしいなあと思います。続きまして、報告事項の方に行かせていただきたいと思います。まず(1)(11/17)令和4年度京都府社会教育研究大会への参加について、(2)令和4年度「丹後地方社教委連だより」について、一括して事務局より説明をお願いします。

事務局

※事務局説明

中山議長

ただいまの事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。パネルディスカッション心配ですけど、がんばりますのでよろしくお願いします。ないですか。では、参加の方またお願いします。できるだけ多くの方の参加をお待ちしております。続きまして、報告事項(3)丹後大学駅伝の開催について、(4)パラスポーツ講演会・体験会の開催について、(5)第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて、一括して事務局より説明していただきます。

事務局

※事務局説明

中山議長

ただいまの説明で、なにか質問や意見がありましたらお願いいたします。ありませんか。ないようでしたら、5その他という事で、委員の皆様から何かありましたらお願いします。はい、お願いいたします。

委員

今日の会議の場所なんですけど、私すごく今日は楽だったんですよ。ですから、毎回大宮でなくても半分はこっちでしても、皆さんちょっとずつ距離を負担してもらっているんで、そんなん思いました。

事務局

検討させていただきます。ありがとうございます。

中山議長

考えていただけるそうです。その他ありましたらなんでもいいです。それでは事務局。

事務局

それでは今日は第2回の会議をさせていただきました。次回、第3回という事ですが、来年令和5年1月下旬もしくは上旬中頃ぐらいに一度会議をさせていただきたいと思っておりますが、また決まりましたらご案内させていただきたいと思いますので、ご出席をいただきますようよろしくお願いいたします。

中山議長

ありがとうございます。その他なんでもいいんでありましたらお願いいたします。それではないようですので、閉会の挨拶を藤原副議長様お願いします。

藤原副議長

皆さん、どうもご苦労様でした。本日は午前が管内社会教育施設の視察という事で、丹後地域公民館、それから丹後図書室の見学をさせていただきました。その後、この場所に帰ってきました、午前は少人数でのグループ討議という事で、非常に盛り上がりこんだ討議は初めてじゃないかなと、隣りの声が大きくてなかなか聞こえないんですね。ちょっと次からはもう少し離していただいた方がいいかなと思いました。やっぱりそういう話し合いを通じて、親睦が深まったり、お互いにいろんな人柄ですとかそういう事も含めてわかりますので、また今後も是非そういう事があつたらいいかなというふうに思いました。本日はこの会議の中でも、いろいろと忌憚のない貴重な意見を頂戴いたしました。今後ともまたいろんな意見を出していただいて、この場が盛り上がり、社会教育全体がよくなっていくように思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。本日は本当にお疲れ様でした。

中山議長

それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。